



# 第23回上田八木・金融政策サーベイ(2018年10月)の結果について

～回答者の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。金利見通しは、「無担保コールON金利」および「2年利付国債」は概ね前回並み、「10年利付国債」では「上昇」と予想する先が若干増加。

2018年10月29日(月)  
上田八木短資株式会社

## 【調査の総括】

- 回答者(173先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。前回と同じ内容。
- 「無担保コールON金利」および「2年利付国債」の予想についても、ほぼ前回と同じ見通し。
- 「10年利付国債金利」の予想については、「不変」との見方が減少。(前回65%→今回57%)

## 【調査の概要】

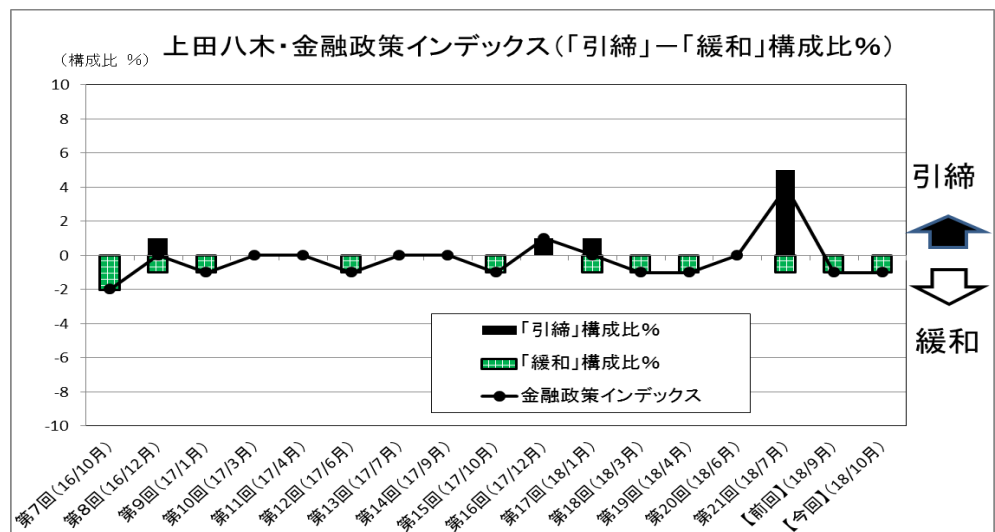
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(192先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年10月24日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	90.1% (回答者数173先<Q1における回答者数>)

## 【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。前回と同じ内容。

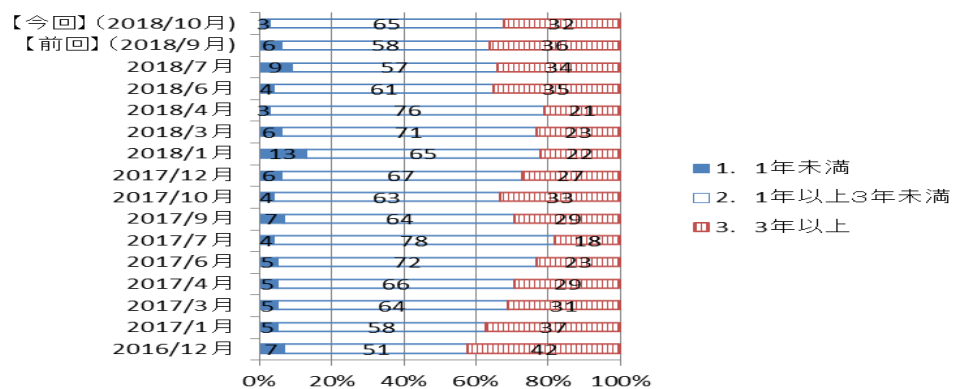
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲1」と前回と同じだった。



(ご参考)

【今回16回目となる追加質問:Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

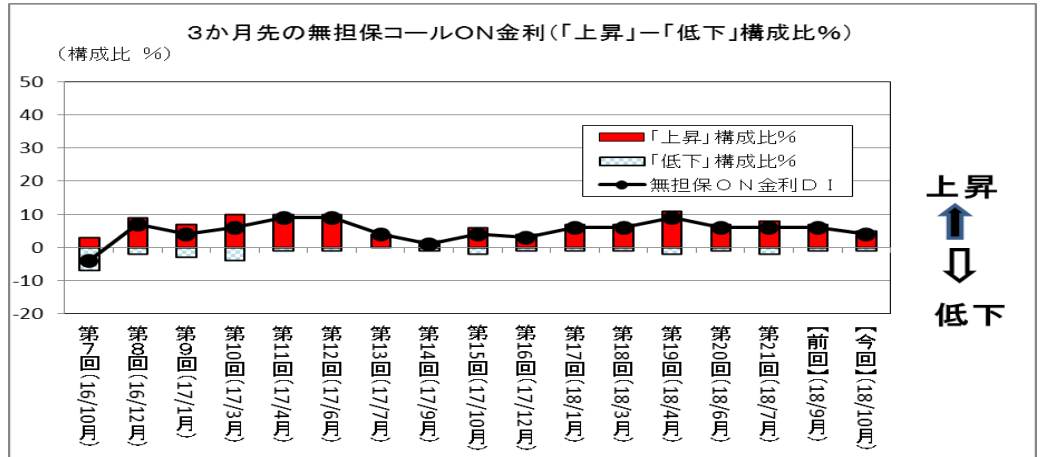
1年未満と回答する先が3%に減少(前回3%)、一年以上3年未満と回答する先は65%に(前回58%)に増加。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の94%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は5%であった。

「上昇」とみる先は前回から2%ポイント減少の+5%（前回7%→今回5%）。  
「低下」とみる先は前回と同じ+1%。  
「不変」とみる先は+2%ポイント（前回92%→今回94%）。



上昇  
↓  
低下

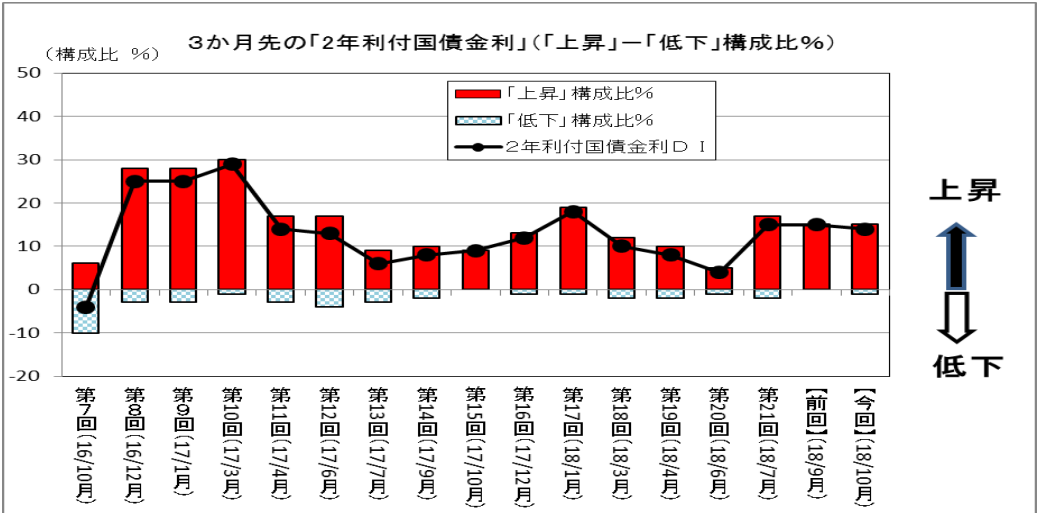
(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の84%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者1%。「上昇」を予想した先は15%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+15%で前回と同じ。

「低下」とみる先は+1%ポイント（前回0%→今回1%）。

「不変」とみる先は▲1%ポイント（前回85%→今回84%）。



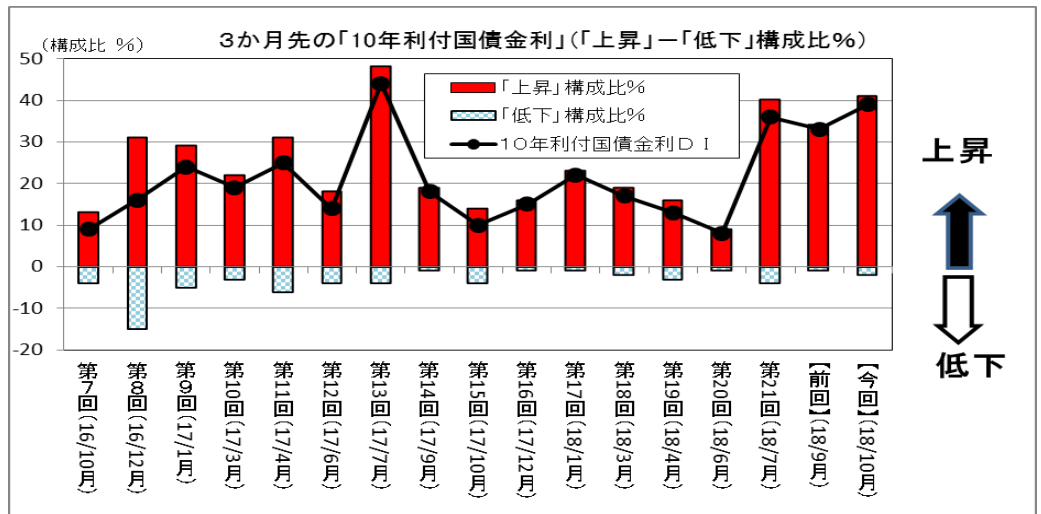
上昇  
↓  
低下

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の57%が「不変」を予想。2%が「低下」、「上昇」を予想した先は41%だった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+7%ポイント（前回34%→今回41%）。  
「低下」とみる先は+1%ポイント（前回1%→今回2%）。

「不変」とみる先は▲8%ポイント（前回65%→今回57%）。



上昇  
↓  
低下

【本調査に関する照会先】  
企画部 島本、保元（電話 03-3272-0293）



# 第23回上田八木・金融政策サーベイ(2018年10月)

発表日：2018年10月29日(月)14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年10月24～26日
調査先	192先
回答率	90.1%

## (Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	99	+0
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	▲1	+0

## (Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	1	1	+0
不変	94	92	+2
上昇	5	7	▲2
短期金利予想DI	+4	+6	▲2

## (Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	1	0	+1
不変	84	85	▲1
上昇	15	15	+0
2年国債金利予想DI	+14	+15	▲1

## (Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	57	65	▲8
上昇	41	34	+7
10年国債金利予想DI	+39	+33	+6

## 質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
1. 1年未満	3%	6%	▲3%
2. 1年以上3年未満	65%	58%	+7%
3. 3年以上	32%	36%	▲4%